

早いもので、3学期も締めくくりの時期が近づいてきました。コロナ禍の中での休校から始まり、何かと新しいことに対応していかなければならない令和2年度でしたが、生徒諸君の頑張り、保護者の皆様方のご支援、ご理解、先生方の頑張りによって何とかここまで来たものとしみじみ思う日々です。地域の皆様方のご支援にも心より感謝申し上げます。

【感動の卒業式】

3月1日(月)に、令和2年度卒業証書授与式を保護者の皆様方に御臨席いただき、挙行することができました。卒業生の門出を祝福してくれているかのような、素晴らしい天気となりました。今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染症



拡大防止の観点から、ご来賓の皆様、在校生の出席がない卒業式でしたが、感動あふれる卒業式となりました。卒業生の式に臨む姿勢はやはり見事なものでした。しっかりと顔を上げ、前を見据え、一分一秒の瞬間を大事にしていることがひしひしと感じられました。多くの行事が中止や変更となり、一番辛い思いをしてきた3年生ですが、一つ一つの



学校生活の瞬間を大切にしてきたからこそ、この卒業式の重みを強く感じてくれていたのではないのでしょうか。卒業生総代の寺本 拓生くんの答辞では、高校生活を通して、いかに多くの方々に支えていただき成長できたことか、また、コロナ禍のなか先生方の工夫のお陰でスポーツフェスティバルが開催されたことなど、甲佐高校の特色を存分に生かした様々な学校行事で思い出を作ることができたことなどを述べてくれました。卒業生全員の思いを心に秘めた素晴らしい答辞でした。



ご来賓の皆様方の出席が今年も叶わなかった訳ですが、甲佐町町長奥名 克美様からは、温かいビデオメッセージをいただき、卒業生に力強いエールを送っていただきました。流れる映像を見て、卒業生、職員、保護者共々感激するとともに、本校がいかに地域に支えられているかを再認識することができました。

卒業生のみなさんは、これから自分が選んだそれぞれの道で、高校生活で培った力を大いに発揮し、社会の中で、組織の中で「あなたがいないと困る」と言われる人材、宝物としての人財に成長し、幸多い人生を歩んでいってくれるものと確信しています。卒業生の今後の活躍をいつも願っています。



卒業生の皆さん、社会に出て
も大いに活躍してください。

これからも、応援
しています。

